

第46号



# 市P連だより

尾道市PTA連合会

平成31年3月発行

【事務局】〒722-0043

広島県尾道市東久保町20番14号

おのみち生涯学習センター内

TEL (0848) 37-7353

FAX (0848) 37-7354

E-mail:jimukyoku@onomichi-pta.net

## 卒業生の皆さんへ



尾道市PTA連合会  
会長 明上 浩之

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日この日を迎えた気持ちはどうですか。小学生が6年間、中学生は3年間という年月は長いようで短かったのではないのでしょうか。沢山の友達や先生に出会うことが出来、また、多くの事を学んだ日々ではなかったでしょうか。卒業という別れがあっても、その先には新たな出会いが待っています。そして、楽しいことや辛いことなど色んなことが起こるでしょう。人生良いことも悪いことも50&50です。不幸なことに、辛いことに出会っても、神様は皆さんが乗り越えられる試練しか与えません。その時には、自分の周りをよく見てください。必ず相談に乗ってくれる大人や友達が周りにいるはずですよ。今まで繋がってきた人が必ず助けてくれます。辛いことの後には、必ず楽しいことが待っていますからね。

昨年、尾道では豪雨災害による被害がありました。そして、長期の断水も経験しました。しかしながら、皆さんはそれに乗って乗り越えて今日この日を迎えられる。



尾道市教育委員会  
教育長 佐藤 昌弘

## 卒業生に贈ることば

た。そうです。皆さんはまさに一つの試練を乗り越えたんです。だからこれからも自信をもって色々な事に諦めずにみんなの前を向いて頑張ってください。そして、故郷である尾道で学んだことを誇りに、これからも夢に向かってチャレンジ人生を歩んでください。その先にはきっと皆さんの夢が叶うことでしょう。遅くなりましたが、保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、おめでとうございます。心よりお喜び申し上げます。様々な苦労があったことと思います。お疲れさまでした。また、尾道市PTA連合会の活動にもご理解とご協力を賜りましたことに感謝し、心より御礼を申し上げます。ありがとうございます。最後にになりましたが、未来ある卒業生の皆さんの今後益々のご活躍をお祈りして、贈る言葉とさせていただきます。ご卒業おめでとう。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。

めでとうございます。また、今日まで卒業生を熱心に指導してこられた先生方、学習支援や登下校の見守り等で卒業生を支えてくださった地域の方々をはじめ、関係者の皆様はこの機会をお借りし、厚くお礼申し上げます。卒業生の皆さんが過ごした学校での生活を振り返ると、いろいろな思い出がよみがえってくるのではないのでしょうか。楽しい行事に心が弾む日もあれば、いやな出来事に登校する足取りが重いこともあったでしょう。様々な場面で頑張ってきたことは、これからの心の支えとなることでしょう。また、こうして無事卒業の日を迎えられたのは、皆さんのことをいろいろな面で見守り、皆さんのことを大切に思ってくれている人、家族や先生方、友達、たくさんの方々の支えがあったことも忘れないうください。昨年を振り返りますと、多くの災害に見舞われたことは記憶に新しいところです。とりわけ七月に西日本一帯を襲った豪雨による被害は甚大であり、市内でも尊い人命が失われたほか、ほぼ全域に及んだ長期間の断水は、日常生活に深刻な影響を及ぼしました。その間、猛暑の中にもかかわらず、土砂撤去や給水作業などのボランティア活動が繰り広げられました。

願っております。

休校期間中、臨時に設けられた給水所で、実際に活動にあたったという中学生もいます。容器を車まで運んで、給水に來られた人から「重いから助かる」という感謝の言葉を聞いたということも聞いています。社会は人と人の絆でできています。皆さんがこれから次のステージに進む中で、家族、仲間や友達、地域の方々とながっていることの大切さに改めて気づくと思います。人は人との関わりの中で成長し、支え合って生活していきまします。このことを忘れることなく生活していくてください。そして、これまでの学校生活の中で得た思いやりや感謝の気持ちを持って、新しい友達をたくさん作ってください。皆さんが過ごしてきた尾道は、海や山など自然環境に恵まれ、そして今年、尾道港が開港して八五〇年という記念の年を迎えるなど永い歴史のあるまちです。これまで、先人たちが築いてきた尾道の歴史や文化は、私たち市民の誇りです。皆さんには、ふるさと尾道で生まれ育ち、学んだことに誇りを持ちながら、これからの未来に大きな夢と志を抱いて、まっすぐに前を向いて歩み出してください。心から願っております。





# 第17回 市P連親睦 ソフトバレーボール大会



昨年9月30日、悪天候の中ではありませんでしたが、第17回市P連親睦ソフトバレーボール大会を無事開催することができました。

大会当日は急なスケジュールの変更にもかかわらず、臨機応変な対応で大会運営に協力してくださった、選手・審判、そしてスタッフの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度当番校からの引継ぎより一年間、会議を重ね、「挑戦」をテーマに準備をしてきました。開催に向けての資料の作成や準備作業は予想を大きく上回るものでしたが、頼もしい仲間たちに恵まれ、最後まで実行委員長として務めることができました。多忙な日々も完全燃焼できた今となっては、忘れがたい良き思い出です。



今回挑戦してみても気付いた問題点や、継続すべき点、改善すべき点が、今後の大会運営の参考になれば幸いです。

## 大会結果

### 女子の部

- 1位 高須小学校
- 2位 高西中学校
- 3位 栗原小学校

### 男子の部

- 1位 日比崎小学校
- 2位 御調中学校
- 3位 因北小学校

### 総合

- 1位 高須小学校
- 2位 栗原小学校
- 3位 吉和小学校

来年度当番校の浦崎中学校・百嶋中学校ブロックの皆様、まだまだ長い道のりですが、来年度の大いなお運び、よろしくお願いたします。大会の成功をお祈りしつつ、応援させていただきます。



実行委員長

延廣 桂史

## 日本PTA全国研究大会 新潟大会



8月25日(土)に日本PTA全国研究大会新潟大会へ参加しました。台風が直撃ということで急遽一人での参加はさみしかったのですが、大会前夜には広島県内のPTAの方々との交流することができ、色々なお話を聞くことが出来ました。

大会当日の全体会は、長岡市内にあるアオーレ長岡で行われました。オープニングでは長岡市内の小中学生による書道やダンス、吹奏楽等のライブパフォーマンスをみただけで長岡市の教育力の高さを垣間見ることができました。

その後の式典では、大会の旗が新潟の実行委員会から来年開催の兵庫の実行委員会へ手渡されました。また日本PTA全国協議会の東川会長のあいさつでは、社会環境の劇的で急速な変化や、先生(公務員)の働き方改革等、今後ますます教育の原点である家庭教育へ立ち返り考える必要があると言われていました。まさに言われる通りだと共感しました。

記念講演では新潟県出身の俳優高橋克実さんのトークライブがありました。高橋さんの子どもころのお話から俳優として売れるまでの苦労話など高橋さん独特の肩の力が抜けたトークで会場も和やかな雰囲気であつた。お話の中で売れるまで10年以上かかったけど、振り返ってみて好きなことやつていたからあまり苦労とは感じて無かった。それより今やつてある情報番組の方がよっぽど苦労していると笑いを誘っていたのが印象的でした。

PTAの会員数千人が一堂に会する全体会に参加して改めてこの組織のパワーを感じることができました。



筆頭副会長 高橋 武也



# 尾道市教育フォーラム

平成29年度11月18日(日)に栗原中学校プロック主催の教育フォーラムを無事開催することができました。

今回は各校の実践発表をあえてなくし、3校の合同発表で子育て親育ち10ヶ条を改めて見つめ直すという意味も込めて映像化に取り組みました。

映像を作るにあたり、子育て親育ち10ヶ条が作られた経緯を調べていくうちに、沢山の方の思いがあり出来た物だという事が分かりました。普段、なにげなく唱和している10ヶ条を改めて見つめ直すいい機会になったと思っております。

フォーラムの開催までに色々な意見や問題がありました。そんな中でもメンバー全員が協力し合って当日を迎えることができ無事に終わることが出来ました。

最後になりますが、フォーラムを開催するにあたり、ご協力頂きました関係者の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

教育フォーラム実行委員長  
浅井友浩



去る2月8日、尾道市民センター向島ころにおいて親の道徳教育講演会が開催されました。今年の講師は広島県立福山少年自然の家所長 沼本慎二氏をお招きして「幸せな人生を歩むのに必要なこと」と題してお話しを頂きました。

沼田先生は教員免許なしで廿日市市立廿日市中学校の校長を経験した異質な経歴を持つ元県庁職員。「日本一幸せな従業員をつくる！ ホテルアソシア名古屋ターミナルの挑戦」というドキュメンタリー映画の紹介から始まった講演は立ち見も出るほどの盛況ぶりでした。

先生の優しさとユーモア溢れるお話に会場の皆さんは、すっかり引き込まれてしまいました。「これから時代が変わる中、子ども達は自分らしく生きていってほしい。そのためにはどうすればいいのか。」私たち親が分かっているようで分かっていないことに気付き、学校教育はもとより、家庭教育の重要性を再認識させられた講演会となりました。ご参加いただいた皆様には心から御礼申し上げます。

毎年2月に行われる親の道徳教育講演会ですが、子育てに悩まれたりしている方、子どももの成長とともに学ばれたい方、皆様に向けて有意義な時間を提供できる講演会となっております。来年度も多くの方の参加を心待ちにしております。



# 要望書提出&改善状況報告会 仙台市立七郷小学校よりいただいた義援金



平成30年9月4日に尾道市PTA連合会役員で、市長・市議会議長・教育長へ要望書の提出に行ってきた。これは毎年各小中学校からでた要望をまとめて、持参し学校の環境改善をお願いに伺っているものです。今年の市P連からの重点項目として

- ① 補助の教諭又は職員・支援員の増員配置について
- ② 適応指導教室の増設
- ③ 尾道市PTA連合会に対する補助金について

この3点を挙げさせていただきました。前年度まで要望しておりました暑さ対策については、もう設置の完了した学校もあるかと思いますが、「平成31年度8月末を目処に全ての小中学校への整備」が進んでおります。

長年お願いしてきたことが現実となりつつあります。ご尽力いただいた関係各位には御礼申し上げます。今後も市P連としましては各PTAの課題を共有し子ども達の環境をソフトの面でもハードの面でも支えていける組織でありたいと思います。

要望書提出の際、仙台市立七郷小学校 おもだか児童会よりいただいた豪雨災害への義援金（一〇七、九九四円）を尾道市へお渡ししました。尾道の子どもの教育に役立たせて下さる事になりました。

この義援金は、7年前（平成23年度）の東日本大震災の時に、当時の加藤千政元会長のもと、尾道市PTA連合会より被災地に文房具を送り、仙台市立荒浜小学校の子ども達に届いた縁でのご厚意です。

手紙には、荒浜小学校は津波で被災し廃校になり、七郷小学校と統合したとありました。そのような中で、おもだか児童会の子ども達が、尾道の子どもの為に募金活動をしてくれて集まった、あたたかい義援金です。七郷小学校の皆様、本当にありがとうございました。



## 編集後記

本年度も市P連の活動に多くの方々のご協力を頂いて一年を終えることができました。本当にありがとうございました。ごさいました。

逃亡犯の事件から始まり、7月豪雨災害、台風24号と色々な事があった一年間でしたが親睦ソフトバレーボール大会や尾道市教育フォーラムといった大きな行事も無事に終える事ができたのも、会員の皆様のご協力のおかげと心から感謝しております。

つい先日文部科学省が小中学校への携帯電話持ち込み禁止の方針を見直す方向で検討を始めるという報道がありました。大変デリケートな問題だとは思いますが仮に持ち込み許可となった場合には学校側による厳格なルールとともに家庭教育がより大切になってくるのではないかと思います。

子ども達を取り巻く環境は目まぐるしく変わっていきます。時代にあったベストな選択ができるよう家庭においてもしっかりと子どもと関わりあう事が大事なのでしょうね。

広報部副会長 吉浦 史貴

